

SORA

web magazine 2013.apr. vol.11

おにぎり島・コスラエは天然テーマパーク!

Text & Photo : Kagii Yasuaki

MAP
CLICK!

よく見れば三角おにぎりの形をした島・コスラエ。

伊豆大島を少し大きくしたサイズのコスラエは、ボンベイとマーシャルの間に位置する。

あまり日本に紹介されない稀有な島は、実は島全体が、天然のテーマパークだった。

美しいサンゴ礁でのダイビングは、もちろん、固有種の「カ」の木、ドワーフ(小人)の伝説が残るイエラの森。メ
ンケ遺跡への溪流ハイキング、マングローブ・チャンネル・カヌーツアーなどなど、島全体で遊ぶことができる。

優しい笑顔でコスラエアンと熱帯大自然が迎えてくれる島・コスラエへようこそ!

K コスラエ Kosrae

このマングローブの森に潜ってみたいくないですか?

tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2012
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.





R^{ロマン}omance

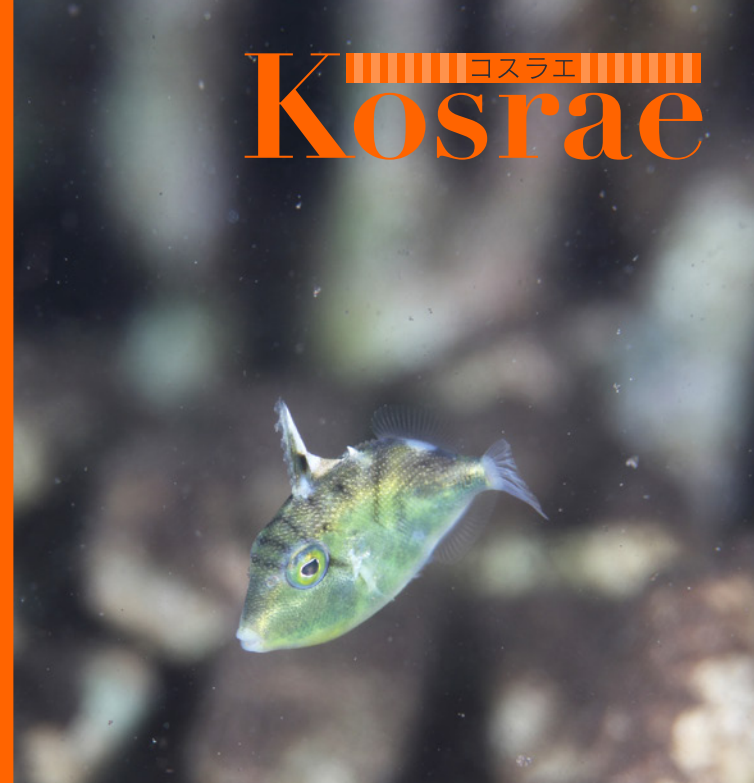
ドワーフ(小人)の棲むお城の世界へ

今回の目玉のひとつとして紹介したいのが、マングローブでのダイビング。ポイントは、「ドワーフ・フォレスト」で、イエラの森に住んでいるという伝説のドワーフの名前がついているポイント。エントリーして驚いたのが、マングローブの海中林でありながら、透明度が良いということ。そして、サンゴが群生しているということ。サンゴの形状もまるでお城のようで、見方によっては、アントニガウディ、サグラダファミリアのような芸術作品に見える。このお城のようなサンゴの中に、ドワーフが住んでいてもおかしくないな、と想像を膨らますこともできる。お城の背景には、マングローブの緑が見える。水中なのか、中世なのか、ヨーロッパなのか？ 自分がどこにいるのか？ 不思議な気持ちにさせてくれる空間だ。エキジットす寸前にマングローブの葉をを眺め、やはりいつもとは違ったダイビングだったと再確認し、ちょっぴり特別な思いでポートに上がる。





Rロマンomance



コスラエ
Kosrae



10年後にも潜りたいポイント

マングローブダイブを行っているのは、コスラエ・ノーティラス・リゾートだけ。ダイビング用のスピードボートから、浅瀬でも走ることができる平たいボートに乗り換える。そして、潮の干満を確認して、満潮時近くに潜りに行く。マングローブの海中林の下は、砂地が続くがシルト系（泥系）で、いるお魚も様々。目立つのは幼魚たちだ。特にチョウチョウウオの幼魚は、外洋のポイントではなかなかお目にかかれないうちだろうと思われる種類を見ることができた。その他の幼魚も同じ。またシルト系に多いお魚の特徴として、体色が濃くなるものが多い。薄暗い砂地にビビッドなカラーの生き物たちは、良く目立つ。また、差し込む太陽の光によってもマングローブダイブは表情を変える。放射状に伸びる白い光を見上げながらダイビングは続いていく。

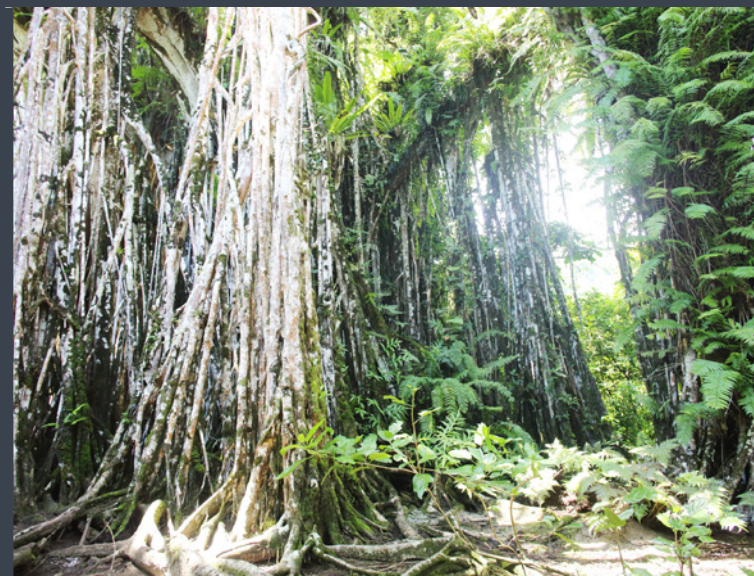
あまり楽しくて、珍しくて、2日続けて潜ってしまった。10年後とかどうなっているのだから…。サグラダファミリアのように少しずつ形を変えて、更に芸術作品となっているのだろうか…。そんなことを想像しながらの楽しいダイビングだった。



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島



R^{ロマン}omance



ドワーフの伝説が残る 固有種の森

固有種の木・カがたくさん見られるイエラの森。オキアットの港からボートで15分に乗り、陸上からは行くことができないエリアに森が広がる。ボートでしか行けないエリアであり、かつ満潮時のみで、1日1回のチャンスでしか、この森に向かうことができない。カの木は、盤根の広い特徴的な姿の木で、シダ類やコケ類が共生し、器量のある聖なる木のようにも見える。固い素材で、以前はカヌーなどに使用されていたために、乱獲され、現在では限られたエリアにかき息していない。また、この森は、ドワーフ(小人)の伝説が残る。木々の隙間から差し込む優しい光が森全体を不思議な雰囲気仕立て上げる。2011年の5月から見学ルートが完成。行きたい場合は、ホテルのレセプション(送迎付きのツアーは、ツリーロッジ内にあるマイクロネシア・グランド・ツアー)で取り扱ってくれる。森の中の滞在時間は、平均30分くらいだが、長いゲストは3時間もといたとのこと。是非、素敵な時間を。

またコスラエの島のはたくさんのお見学地がある。まるでひとつの森のような大きさのイエクラ・バナアンツリー、アナツバメの巣があるバードケープ、旧日本軍の戦跡などもある。

コスラエ
Kosrae



行動 Action

島の南西に位置するウトウェ港からカヌーに乗って出発。カの木を用いて作ったカヌーは水面を滑って移動する。大きな湾からチャネルへと狭い小路に入っていく。それはまるで水上迷路のよう。水面上に自由に枝葉を伸ばすマングローブ。その様子が水面にも映りまるで万華鏡の世界。そんな不可思議な世界の中心にタダオさんのカヌーはどんどんと突き進んでいく。そのやんちゃぶりがまた面白い。時にカヌーはマングローブに行く手を遮られてスタックする……。みんなで笑いながら、協力して脱出(笑)。コスラエにとってマングローブは何でも使える大切な存在。葉っぱは葉になり、木で家、彫刻を作り、また薪にする。生活になくしてはならないもの。それは人間だけでなく、生き物たちも同じ。コスラエのすべての生態系に、命の養分を与える存在でもある。無人島に上陸して、タダオさんが白い可憐なお花の言い伝えを教えてくれた。「一緒になれなかった恋人同士の悲恋が花を、花弁を2つ分けてしまった」。ツアーは満潮時を狙って開催するので、その都度、始まる時間が異なる。約2時間のコースで、各ホテルで予約が可能だ。

マングローブ・チャネル・カヌー・ツアーは最高!



コスラエ
Kosrae



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島





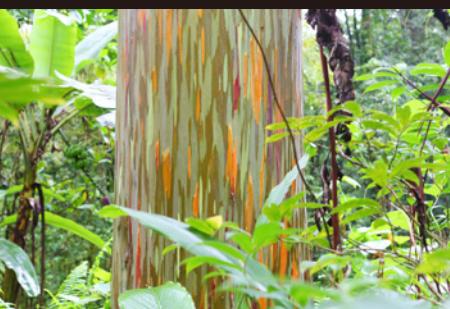
Kosrae

コスラエ

メンケ遺跡への ジャングルハイキング

メンケ遺跡は、1400 年頃に作られたレラ遺跡、ナンマドールよりも古い遺跡でミクロネシアでは一番古いと言われている。遺跡の特徴は、「祈りの場」として存在していたもので、他の遺跡のように、王朝の遺跡とは異なる。かつてパンの木の女神・シンラクを祭ったものであり、2 間続きの居間と祈りの場が、ジャングルの中に 100 か所以上ある。これはナンマドールのように玄武岩の遺跡ではなく、川の石を用いたもの。まだ解明されていないことが多く、現在もアメリカの調査団が継続的に調べている。1800 年代に、島にキリスト教が伝わり、コスラエは教会信仰に変わったために、メンケ遺跡の役割は終わったと言われている。

このジャングルハイキングは、ガイドのサリク（日本にいた経験もあり、日本好き。日本語少々）が動植物の説明してくれ、小川を渡るときも、橋ではなく、川の中をザブザブと歩いていく冒険スタイル。このジャングルは、雨が降った後が、また美しい。色鮮やかになるレインボーツリーやシャンブー代わりなるジンジャーフラワー、そして雨の滴が森の中に写すグリーン・ブリリアント現象なども見られる。



Information

●国名:ミクロネシア連邦 コスラエ州 ●ビザ:観光目的で30日以内の滞在ならビザ不要 ●パスポート残存期間:120日+滞在日数以上が必要 ●言葉:公用語は英語。島民同士の会話はほとんどがコスラエ語 ●時差:日本との時差は+2時間。日本が正午の時、コスラエは午後2時 ●電圧:110V。プラグ形式も同じで日本の電化製品はそのまま利用可能 ●水:ミネラルウォーターを飲むこと。水道水は飲めない

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島

